

すずらん

第22号
2016.11



西城市民病院だより

庄原市立西城市民病院

広島県庄原市西城町中野1339番地

TEL:0824-82-2611(代)

FAX:0824-82-2012

西城市民病院市民公開講座で認知症予防



市民の皆さまの健康づくりと地域包括医療・ケアの推進のために、市民公開講座をシリーズで行いました。パートIは、世界アルツハイマーデーキャンペーンの一環として、9月20日(火)病院4階大研修室において、「認知症を知ろう!」と題し、当院の非常勤医師である荒木脳神経外科病棟の淡川正顕医師が講演を行い、50が名参加しました。

認知症の種類や特徴、治療と予防について説明し、参加者の皆さんは、「早期発見や予防の大切さが理解できました。」と話していました。

関連事業として、認知症スクリーニングテストや健康相談、パネル展示などを行い、認知症への理解を呼びかけました。

パートIIは、世界糖尿病デーキャンペーンの一環として11月8日(火)、「糖尿病を知ろう!」をテーマに、講演会を開催しました。



西城訪問看護ステーションに訪問リハを導入しました!

当院が開設している西城訪問看護ステーションは現在しあわせ館に設置しており、看護師が自宅で療養されているご家庭を訪問しています。昨年の8月からは、「サテライト事業所東城支所」も東城支所内に設置し、運営しています。

この度当院では、身体機能の低下や拘縮の予防など、在宅での専門的な機能訓練が必要と考え、10月から理学療法士をスタッフに加えて、訪問リハビリテーションの実施体制を整えました。

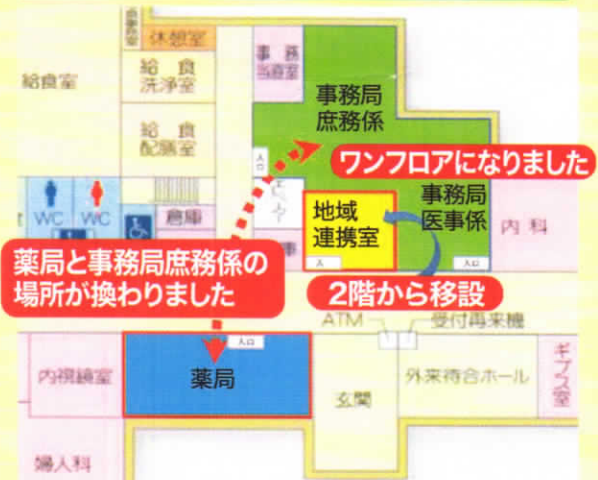


訪問する理学療法士と看護師

通所が困難な方を対象に、自宅を訪問し、生活の場で生活に即したリハビリを個別に実施し自立支援を行います。家族も実生活における介助方法の指導等を受けることができます。

●問い合わせ先/
庄原市西城保健福祉総合センター「しあわせ館」内
西城訪問看護ステーション TEL 0824-82-3351

病院1階のフロアを配置換えしました。



病院をより市民の皆さまが利用しやすいように、病院1階の部門を一部配置換えいたしました。事務局(庶務係と医事係)をワンフロアにし、窓口一本化と事務の効率化、連携の強化を図りました。また、2階の地域連携室を1階へ、薬局を正面玄関左側に移設しました。

来院された皆様には、改修工事等でご迷惑をおかけしましたが、11月から移設場所で業務をしております。不明な点は職員へ気軽に声をかけていただければ幸いです。

基本理念

～市民の皆さまが安心して暮らせ心の支えとなる病院に～

庄原市の行政施策の一環として存在し、常に市民の皆さまの健康な生活を支える中心的な役割を果たすために、医療・保健・福祉・介護のサービスの提供を担います。

基本方針

1. 患者さま第一の、満足いく医療を提供します。
2. 保健・医療・福祉と連携し、地域で安心して暮らせるよう支援します。
3. 救急医療を充実し、安全で質の高い医療を提供します。
4. 患者さまのプライバシーを尊重し、わけへだてのない医療を提供します。
5. 常に自己研鑽に努め、明るく働きがいのある職場環境づくりをめざします。



医学生が地域医療を学ぶ

平成28年8月22日(月)～25日(木)、地域医療セミナーが行われ、広島大学医学部8名の大学生が、2グループに分かれ西城市民病院を訪れました。この8名は地域医療への従事を志す医学生で、実際の現場で体験を通して、地域医療への理解を深めることを目的とし、実習に臨みました。

郷力和明院長による地域包括ケアの実践について講義

を受けた後、回診、外来診療、訪問診療、巡回診療バス等の見学を行いました。医療部門のほか、病院介護事業所を見学し、連携の在り方について学びました。

外来診療や往診に同行した学生は、「患者様や家族の方々一人ひとりの関わりを大事にしながら診ていく姿に感動しました。」と話していました。



地域包括ケア病床で

夏祭り・秋祭り!

8月17日(水)、病院3階ホールにおいて、「地域包括ケア病床夏祭り」を開催しました。

盆踊りのお囃子にのって、ヨーヨーや金魚すくい、風船バレーなどを楽しみました。

参加した患者様は、笑顔で手を伸ばし「いい運動になった、汗ばんだ。」などと話されていました。担当した見越介護福祉社は、「楽しく筋力アップを行なっています。手先の運動で、集中力を養



うこともできます。このような集いを、季節を通じてやっていきたいです。」と話していました。

10月27日(木)には、秋祭りをテーマにして、御神輿や獅子舞なども登場し、にぎわいました。

地域包括ケア病床では、今後も創意工夫しながら、在宅復帰への意欲向上のための取り組みを続けていきたいと思ひます。



第2期庄原市立西城市民病院 経営改革プランを策定しています

当院では、総務省が示した新公立病院改革ガイドラインに基づき、経営改革プランを策定しています。プランの期間は平成29年度から5年間で、今年度有識者や地元住民等で構成する策定委員会において協議を進めております。第1回の策定委員会を7月6日(水)に行い、その後月1回のペースで会合を重ねています。

計画は、各都道府県が策定する地域医療構想を踏まえ、地域医療の確保と安定的かつ継続的な医療の提供に資する病院事業運営の総合的な改革を目指して策定しています。



新規採用職員

新しい仲間が加わりました!



リハビリテーション科
理学療法士

石田 希

平成28年10月からリハビリテーション科で勤務させていただいています。理学療法士の石田です。

患者様、地域の方々に寄り添い、より良い生活が送れるようリハビリでサポートしていきたいです。

日々笑顔で頑張ります。よろしくお願いします。

素敵な椅子カバーが できました!



この度、病院2階の小会議室2の椅子カバーを作成し、取り付けていただきました。老朽化で何とかならないかと依頼したものです。

縫ってくださったのは、手芸サークル「つむぎ」の方々です。手芸が得意な7人で結成され、ボランティアで仕上げてくださいました。

シックな出来上がり、落ち着いて話し合いができる雰囲気、会議室にぴったりです。皆さん笑顔で取り付けてくださいました。

代表の一橋富貴さんは、「生地選びからみんなで協議してデザインし、作成しました。喜んでもらえてとてもうれしいです。活動の輪を広げていきたいです。」と話されました。

暖かいお気持ちに感謝いたします。



地域に広げよう!シルバーリハビリ体操!



講師と体操指導士
による実技指導

平成28年10月1日(土)、庄原市民会館において、介護予防講演会が開催されました。

初めに主催者の矢吹副市長と庄原市シルバーリハビリ体操普及啓発事業プロジェクト協議会会長である西城市民病院の郷力院長があいさつを行い、講師のシルバーリハビリ体操

の考案者である茨城県立健康プラザの大田仁史先生が、介護予防の基本的な考え方やシルバーリハビリ体操の意義について話されました。

講演の後、シルバーリハビリ体操の実技を会場の皆さんと一緒に行いました。会場に集まった350人の方々と、元気を分かち合う有意義なひとときでした。

現在、庄原会場(ふれあいセンター)において、庄原市シルバーリハビリ体操2級指導士第4期養成講習会を、9月28日から11月24日までの予定で実施しています。



講師の
大田仁史先生

指導士の皆さんは、市内様々な地域で体操の普及活動を精力的に展開され、元気の輪を広げてくださっています。

当院は、今後もシルバーリハビリ体操普及啓発事業に協力・支援をし、地域包括医療・ケアの推進を進めていきます。



西城市民病院 デイサービス敬老会



デイサービスでは、9月12～16日の週に敬老会の行事をしました。会は、外部からゲスト(手品や演奏等)をお迎えしたり、利用者の方々やスタッフによって楽しめる、毎日違ったプログラムを企画しました。会の終わりには、大黒様とお福様が、お菓子を配り、利用者の皆さまの笑顔に包まれた楽しい会となりました。今後も季節の行事を大切に実施していきたいと思います。10月は秋の大運動会をテーマに行いました。



8月20日(土)、介護老人保健施設「せせらぎ」納涼祭を行いました。入所者の方々は家族と屋台のごちそうを食べたりゲームを楽しんだりしました。

その後、駐車場に組んだやぐらのまわりで盆踊りや花火を楽しみました。たくさんのご家族や地域の方、ボランティアの方々のご協力をいただき、笑顔でにぎやかな夏の夜を過ごすことができました。

10月30日(日)には、神楽を鑑賞しました。

リハビリテーション科 紹介



リハビリテーション科では、医師の指示のもと身体機能・能力の回復を図り、その人らしい生活を送るため、外来、入院、在宅での支援を行っています。

早期からリハビリを行うことは、体力の低下や寝たきりを防ぐことに繋がります。

病棟では、患者様の状態を確認しながらリハビリを行います。地域包括ケア病床では、在宅復帰を目指し、集中的なリハビリと退院調整を行い、安心して在宅生活が始められるよう支援を行っています。

自宅への訪問リハビリや、介護老人保健施設せせらぎ入所者様及び通所リハビリ利用者様に対しても個々の状態に応じた目標に向かって取り組んでいます。

また、小児期の発達相談・指導や、地域リハの一環としてシルバーリハビリ体操普及への支援・協力をしています。さらに先日から、訪問看護ステーションに訪問リハビリ体制を整えたところです。連携を大切にし、一層、専門職として地域に貢献できるよう努力していきます。

西城市民病院グループ出前講座

当院では、市民の皆様が健康で暮らしていただくために、地域に出向いて出前講座を行っています。皆様、是非ご利用ください。

●申し込み・問い合わせ先/西城市民病院 地域連携室
TEL 0824-82-2611(内線205) FAX 0824-82-2012

今年度8月～11月までに5回実施しました。「薬の飲み方について」の講座の要望が新しくあがってきました。

出前講座実施状況

No	実施月日	団 体	内 容
12	28.8.30(火)	心と身体のティータイム(介護教室)	薬の飲み方
13	9.1(木)	認知症カフェ	かむことと認知症
14	9.4(日)	八島自治会敬老会	地域包括医療・ケア
15	10.20(木)	八島デイホーム	薬の飲み方
16	11.11(金)	今が青春(介護予防グループ)	認知症の予防



●心と身体のティータイム(介護教室)

参加者16名「『薬と上手に付き合うために』をテーマに残薬の対応など、知らないことを教えてもらい良かったです。」



●認知症カフェ

参加者27名「『かむことと認知症』をテーマにわかりやすく具体的な話をしてくださいました。」



●八島自治会敬老会

参加者60名「地域包括医療・ケアの取り組みと生活習慣病予防に関する内容でした。身近な話で興味深くお聞きしました。」

西城市民病院 レシピのご紹介

Cooking Recipe



●長芋の白煮
●生姜和え(青梗菜・人参)

鰯のゆず香り焼き

エネルギー:86kcal 塩分:0.7g

【材料1人分】	鰯切り身 一切れ(60g)	ゆずの皮 1g	大根おろし 40g	しょうゆ 1g	しょうゆ 3g	みりん 1g	砂糖 0.5g
---------	---------------	---------	-----------	---------	---------	--------	---------

- 【作り方】①大根おろしは軽く水けをしぼっておく。
②鰯はA・ゆずの皮で下味をつける。
③魚焼きグリルなどで鰯を焼き、中まで火を通す。(下味がついているため、焦げやすいので火加減は調節する)
④皿に鰯をのせ、大根おろしを添え、大根おろしにしょうゆをかける。

ポイント 酸味と香りで、旨味アップ!塩分カット!

ゆずなどの柑橘類の酸味・香りをうまく利用すると、旨味と風味がぐっと引き立ち、薄味でも満足感が得られ、塩分を控えることができます。ゆず果汁を調味料に加えるとさっぱりした味になります。

西城市民病院

ボランティア活動のご紹介



笑顔の西城岬会の皆さん

西城市民病院では、ボランティアの方々のご支援をいただいております。

病院のロビーに俳句を展示して下さっている「西城岬会」の皆さまをご紹介します。

平成13年頃から約15年間、会員の方々の詠まれた俳句を季節ごとに掲示して下さっています。

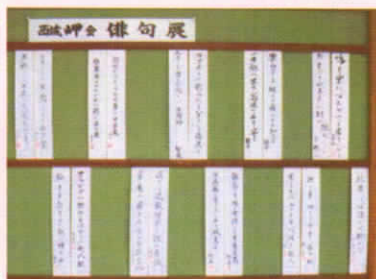
「伊藤白水さんの指導のもと、14人の仲間と、四季を通じて年4～5回、掲示しています。病院受診をされた方々が、待ち時間を利用して観ていただければ嬉しいです。気持ちが和んだり、ほぐ

れたりして下さることが私たちの願いです。」と語る岬会世話人の渡部喜世子さん。「楽しみにしています。という患者様の声を聞くと、続けてきてよかったと思います。」と笑顔で話されます。

渡部さんは、「もともと読書好きで、自分の気持ちが表れる俳句が好き。俳句仲間とおしゃべりや心のふれあいも楽しい。かたく考えないで、皆さんも入会してもらいたい。」と語られました。

ボランティアの皆さんのご協力で、院内がほのぼのとしてきます。心温まるご支援に感謝いたします。

俳句 掲示



日頃から、西城市民病院を支えていただきありがとうございます。

平成27年度黒字決算という明るいニュースが飛び込みましたが、地域の皆様に愛される病院であり続けるために、今こそ職員一人ひとりが引き締めてふんばる時だと認識しています。今後とも、皆様のご支援ご協力をお願いいたします。

日毎に寒さが増し、インフルエンザの流行やヒートショックが起こりやすい時期です。予防対策を行い、冬を元気に乗り越えていただきたいと思います。

次回は、平成29年2月を予定しています。ご意見等、お寄せください。【西城市民病院広報委員会】

休日・時間外の
救急については
24時間対応
しています。